

あの街
この町

まなびや探訪

教えるの現場を見て歩き

第3回

今回の街 (千葉県千葉市)

- NPO法人TRYWARP
- 〒260-0044
- 千葉県千葉市中央区松波2-18-8
- 新葉ビル2F
- ☎ 043-207-1040
- URL <http://trywarp.com/>



千葉大学の学生が地域のパソコン初心者を対象にパソコン講習会や出張サポート、パソコン購入ツアーなどを開催。パソコン講習を通して学生と地域住民との世代間交流を深め、地域活性化につなげている。

代表の虎岩さん。全国の大学などで講演も行っている。



「電源を入れ、無事起動したパソコンを囲んで話をしているなかで、「そういう

宅に伺って会話をするきっかけに過ぎないのですから」
「電源を入れ、無事起動したパソコンを囲んで話をしているなかで、「そういう

「パソコンが動かない。もしかして、壊れてしまったの!?」……こんなとき、誰かが家に来て直してくれたらと思うことは誰しもある。トライワープでは、そんな願いを大学生がかなえてくれるという。「パソコンが壊れたというので見に行くと、単に電源が入っていないだけだった、なんていうことがほとんどです。でもそれ

パソコンを「教える」と「学ぶ」が 学生と地域住民の 新たな世代間交流の きっかけに!

「私たちの講座は、民間のパソコン教室でプロの講師が行う授業とは違い、パソコンの上級者になつてもらうことを目指しているわけではありません。パソコンを触ったことすらなかった人がワードやメールを使えるようになること。学生が持っている知識を伝えていくこと。パソコンへの苦手意識を解消するために、教えるほうも習うほうも楽しんでパソコンに向かうこと。そのためには、コミュニケーションがもつとも大切です」
初心者にはパソコンを教えると、自分にはたやすくも相手には難しい操作が多いことに気づく。「クリック」を理解してもらおうのに3時間かかることもあると

「変なメールが届いて……」と、新たな疑問が浮かんでくる。学生は、自分がわかる範囲でそれに答える。こうして、もとは顔も名前も知らなかった学生と地域住民とが、「パソコン」を共通の話題に知人になり、やがてお茶を飲みながら世間話をする友だちになつていく。
地域に住む「年上の生徒」が「学生講師」の心を育てる

「自分の両親やそれ以上の世代から『ありがとう』『あなたのおかげ』と感謝の言葉をもらうことは、学生にとつて貴重な経験になります。また、いつの間にか受講生が学生の悩みを聞き、親身になつて答えていることも。年上の受講生が学生の心を守り、育ててくれるのです」
キャンパスのある街を「第二のふるさと」にしたい

大学を卒業すると、何年間も通ったキャンパスのある土地も、自分にとつて過去の場所になってしまう。しかし、そこに親しい友人がいたらどうだろうか。
「たとえば、かつて講師だった卒業生がひさびさに千葉に来るとわかると、受講生だった喫茶店のオーナーがごちそうを用意して待っていてくれる。世代を超えた友人は、学生にとつて『第二のふるさと』の父や母となるのです」
幅広い世代から「ただいま」と言われるような愛着がもたれる街。そんな街作りにもパソコンがひと役買った。



毎月発行の会報誌は、すべて学生による制作。パソコンの話はもちろん、地域のお店の情報も掲載!